

認知症に関する活動計画（概要）

神奈川県作業療法士会では、認知症に対しての専門部署として、認知症対策委員会を2013年に設置し、現在まで活動を続けています。2021年度は、前年度から引き続き、年に2回の研修会事業と認知症啓発事業にも取り組んでいく予定です。例年行っていた、家族の会との連携や地域活動にも参画を目指し、活動部員の拡大を図っていきます。

認知症啓発事業

RUN伴＋三浦半島2022に県士会として後援し、また県士会 認知症対策委員会の部員が実行委員として、企画・運営に参加している。昨年度はCOVID-19の影響でオンラインでの実施となったが、本年度は感染対策を徹底し、従来のタスキを繋ぐスタイルで11月に開催予定である。



※写真は過去のRUN伴＋三浦半島

認知症の人と家族の会との連携事業

神奈川県作業療法士会では、隔月で行われていた若年性認知症の家族の会の活動に参画し、サポートを行ってきました。また年に1回当会の会員が、家族向けに「家族支援プログラム」として、認知症のリハビリについて講演を行っています。

研修会事業

認知症対策委員会の部員で年に2回の研修会の開催を開催しています。本年度は例年継続的に行っている、基礎的な「認知症アップデート研修」に加え、実際の臨床の現場で取り組んでいる作業療法についてどのように考え・実践しているのか症例に対しての「臨床思考過程」の研修も計画しています。

COVID-19の影響・対応など

昨年度から研修会事業はすべてオンラインで活動を行っている。また、直接対面で行う事業は中止となっているものが多く、神奈川県作業療法士会から派遣して取り組む事業も現在は活動を中止している状況となっている。